

IRB番号「2022-GB-011」

研究課題名「大腿骨置換術後の感染への救済策としてのtibio-calcaneal turn-up plasty」

1. 研究の対象

2009年1月から2017年12月の間に当院で翻転形成（tibio-calcaneal turn-up plasty）を受けられた方

2. 研究の目的・方法

股関節離断に比較して本術式の方が術後の機能がすぐれているかを調べることです。診療記録から術後機能を調べます。

3. 研究期間

承認日 ～ 2022年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：病歴、画像

試料：

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

がん研有明病院整形外科 松本誠一